

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画を担当するメンバーが計画担当者と相談し実践しているが、本人の気持ちや家族の思いを計画の中に組み入れることが難しい記録様式になっている。	本人の意向、家族の思いが表現しやすい記録様式に変更する。	法人内グループホーム2ユニットで書式の検討を行ない、様式の変更を行なう。	6ヶ月
2	3	会議の中でグループホーム内で行っているインシデント等の報告が定期的に行うことができていない。	会議時にはインシデント報告を行なう。	会議時にはインシデントレポートの内容を報告を行ない、対応の実情を伝える。	4ヶ月
3	18	職員と利用者とは近い関係が、馴れ馴れしくなってしまう相手を尊重する言葉かけ等が乏しい。	法人の理念を自分の言葉で理解し、尊重できる対応を行なう。	研修の実施。面談時に利用者への対応について確認・指導する。	12ヶ月
4	49	入居者の身体的機能が低下するなか、日常的な外出支援の回数が少なくなっている。	状態に応じた個別での外出支援を行う。	担当スタッフを定め、個別に散歩等の外出支援を行う。比較的軽度の方については、家族さんに外出をお願いしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。